

2018年8月10日

各位

会社名 株式会社ブイキューブ
 代表者名 代表取締役社長 間下 直晃
 (コード番号：3681 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 大川 成儀
 (TEL. 03-5768-3111)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2018年2月14日に公表した2018年12月期第2四半期(累計)(2018年1月1日～2018年6月30日)の連結業績予想を修正しましたので、下記の通り、お知らせいたします。

記

1. 2018年12月期第2四半期(累計)の連結業績予想数値の修正
 (2018年1月1日～2018年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	3,231	45	24	△49	△2円06銭
今回修正予想(B)	3,408	107	31	△56	△2円33銭
増減額(B-A)	176	62	7	△6	
増減率(%)	5.5	136.8	30.1	—	
(ご参考)前年同期実績 (2017年12月期第2四半 期累計)	3,067	△427	△420	△837	△43円29銭

(注) 前回発表予想の1株当たり当期純利益は、2018年2月14日現在の発行済株式総数(24,062,200株)を基に、今回修正予想は、2018年8月10日現在の発行済株式総数(24,102,200株)を基に算出しております。

2. 修正の理由

- ・ 売上高は、大型案件があったことにより、前回発表予想を上回る見込みとなりました。
- ・ 営業利益は、売上高が上振れたこと、リリースの時期ずれに伴うソフトウェア償却費の減少に加え、販売費及び一般管理費の削減が期初予想よりも進捗したことにより、前回発表予想を上回る見込みとなりました。
- ・ 経常利益は、グループ内貸付を主とした外貨建て債権の換算による為替差損の影響を受けたものの、営業利益の増加により、前回発表予想を上回る見込みとなりました。
- ・ 親会社株主に帰属する当期純利益は、外部委託システム障害対応費用等の特別損失の計上により、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

3. 2018年12月期通期連結業績予想

2018年7月13日付「投資有価証券売却益(特別利益)の計上に関するお知らせ」の通り、2018年12月期第3四半期において特別利益51百万円を計上する見込みですが、為替の動向を含め全体として不透明感が高いため、通期予想は据え置くことといたします。

以上